

令和4年度 自然再生協議会全国会議の報告

令和5年1月24日(火)9:00~17:15



全国自然再生協議会(法定 26)



対象地域：島根県、鳥取県

再生課題：汽水湖の自然環境、生態系の再生



な か う み し ぜ ん さ い せ い き ょ う ぎ か い
中海自然再生協議会

再生
目標

豊かな汽水湖の環境と生態系、そして心に潤いをもたらすきれいな自然を取り戻し、かつての中海の自然環境や資源循環を再構築する。

- 事務局
認定NPO法人自然再生センター
- 対象地域
島根県松江市、安来市
鳥取県米子市、境港市
(中海とその流入河川(大橋川を
除く)の全集水域)
- 構成員数：61人
- 協議会：H19. 6. 30 設立
- 全体構想：H20. 11. 22 策定
- 実施計画：H24. 3. 10 策定
(R元年、8現在)



中海は、島根県と鳥取県にまたがる我が国で5番目に広い湖で、斐伊川水系の河口部にあり、宍道湖と一連の汽水域を構成しています。

かつては、高い透明度とアマモ・オゴノリ等の藻場が広がる生物が豊かな湖でした。しかし干拓・淡水化事業等の開発、流入する生活排水、農業・畜産・産業排水の増加により、生物がすみにくくなり、地域住民の意識も中海へ向かなくなりました。

そこで、「よみがえれ、豊かで遊べるきれいな中海」を合い言葉に、豊かな汽水湖の環境と生態系、そして心に潤いをもたらすきれいな自然を取り戻し、かつての中海の自然環境や資源循環を再構築することを目標としています。



オゴノリ(海藻)

自然再生の手法

- ▽ 海草類の回収及びその利用
- ▽ 浚渫産地の環境修復
- ▽ 湖岸域の保全・再生事業



浚渫戻し事業

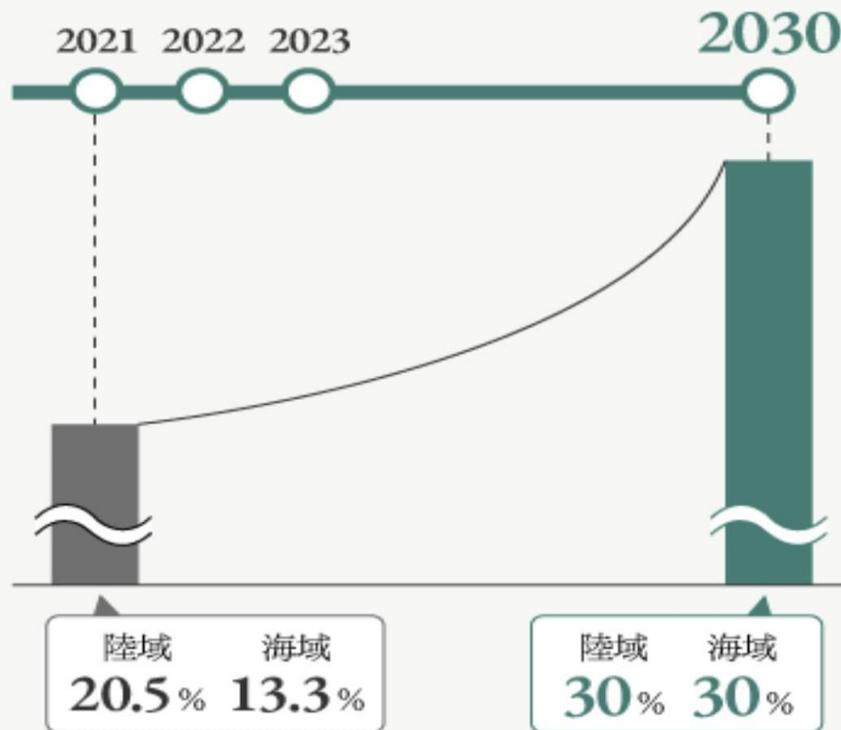
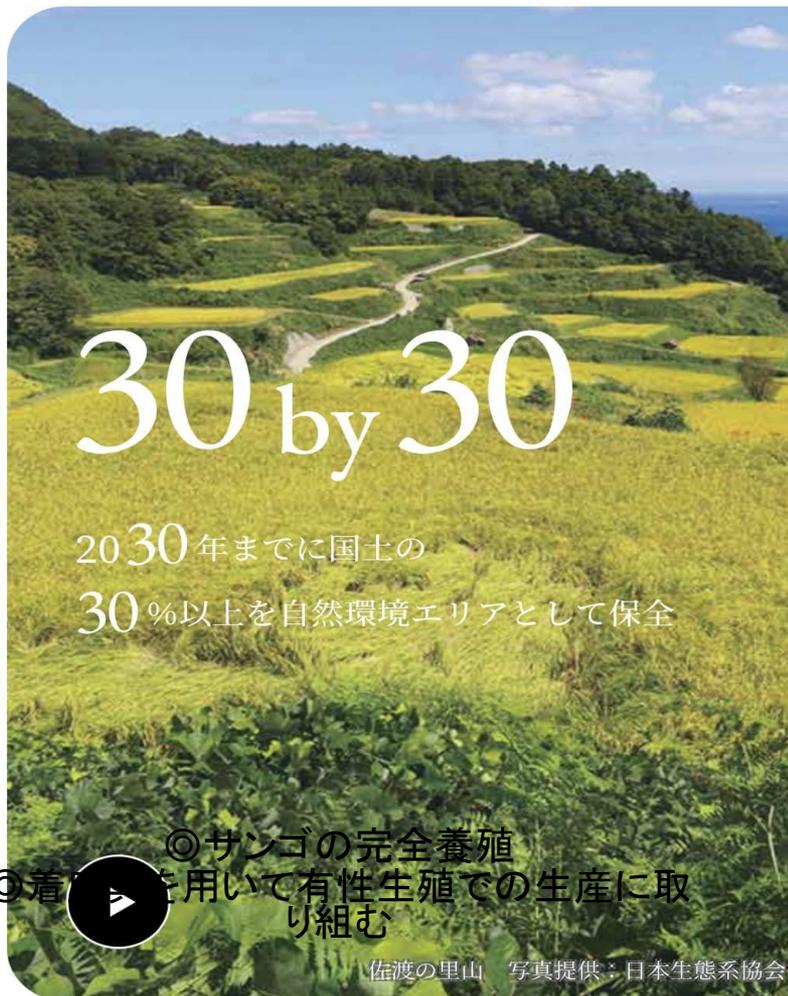


中海のオゴノリ刈り体験





◎サンゴの完全養殖
◎着床具を用いて有性生殖での生産に取り組む



- 2021 OECM を国が認定する仕組みを検討
- 2022 30by30ロードマップ公表、COP15 第二部開催予定
- 2023 少なくとも100地域以上で認定

環境省HPより

BSS みつけ♪さんいんSDGs(各3分)

① 2/5放送前半編

【中海浚渫窪地埋戻し実証事業】

② 2/12後半編

【オゴノリング大作戦】

③ 新日本海新聞社

2月14日に寄付キャンペーンについて新聞記載

目標金額 80 万円まで
2/28 (火) まで

～認定10周年記念寄付キャンペーン～

中海・穴道湖の自然再生
人と水辺を結び直す

認定NPO法人自然再生センター

- BSS みつけ♪さんいんSDGs(各3分)
- ① 2/5放送前半編【中海浚渫窪地埋戻し実証事業】
中海の中の大きな穴に「三隅火力発電所」から出る灰で作られたリサイクル資材「HIビーズ」で埋め戻す
- <https://www.youtube.com/watch?v=Dg-BcsppurA>

② 2/12後半編【オゴノリング大作戦】

どこからでも、参加してくださいね！

適度にオゴノリ(藻)を中海の湖底から引き揚げ、畑の土壌改善に役立てる循環型社会の再構築.

「楽しく、おいしく、ためになる」を実感できいる事業です. 自然の中で素敵な体験ができます

<https://m.youtube.com/watch?v=5Y7cVAg74-8>

- 石西焦湖自然再生協議会の取り組み紹介1 (八重山漁協共同組合サンゴ種苗生産部会)
- 午後の部 竹富町役場
石西焦湖自然再生協議会の取り組み紹介2(協議会概要及び構成員からの発表)
- 他協議会及び、自然再生協議会設立準備団体からの発表2件

意見交換

3つのグループにわかれて意見交換

テーマ1

若い参加者(新たな参加者)を増やすための工夫

テーマ2

様々な立場の団体が参入するメリットと課題解決について

テーマ3

一般に向けた自然体験活動の実施の工夫と課題解決について

○関係省庁からの情報提供

17:15終了

2021年G7サミットで約束

2030年までに国土の30%以上を

自然環境エリアとして保全

30by30(サーティ・バイ・サーティ)とは、2030年までに生物多様性の損失を食い止め、回復させる(ネイチャーポジティブ)というゴールに向け、2030年までに陸と海の30%以上を健全な生態系として効果的に保全しようとする目標です。